



三重県内の経済・雇用の維持・発展に向けて、製造品出荷額が最も大きく、また多くの部品・部材等が使われ裾野も広い県内自動車関連産業の果たす役割は大きいものがあります。また、素材や加工設備・技術、人材において自動車関連産業との親和性が高く、今後市場の拡大が予想される航空機産業への県内企業の参入が期待されます。

近年、自動車関連産業では環境性能の一層の向上とともに安全運転支援システムや自動走行システム等の技術革新が進み、また加えて航空機産業では、安全性や軽量化等により求められる新素材加工技術やより高度な管理が求められています。このような背景の中、県内のものづくり企業が独自技術を活かし、外部環境の変化に柔軟に対応できる体質に転換し、そして付加価値の向上を図るためには「研究・技術開発人材」や「高度な技能者」等、ものづくりを支える人材の育成・強化が欠かせません。こうした状況を踏まえ、県内の自動車や航空機関連産業を中心としたものづくり企業の在職者や本産業に就職を希望する求職者を対象として技術スキルを高める人材育成講座を実施することとしました。この機会に、ものづくりに関する製造技術、管理技術を学び、個人のスキルアップを図るとともに、技術の幅を広げ、新たな挑戦を図っていただければと存じます。

公益財団法人三重県産業支援センター  
理事長 山川 進

## 開講日程一覧

講座名	日数	講座開講日	詳細
① IoTを利活用するものづくり基礎講座	4日間	10月26日、11月8日・24日・25日	3頁
② メカトロ応用技術基礎講座	7日間	10月6日・7日・20日・21日 11月1日・10日・11日	4頁
③航空機産業に学ぶ新素材と加工技術基礎講座	3日間	11月29日、12月6日・20日	5頁
④航空機産業に学ぶ実践品質管理基礎講座	3日間	12月1日・2日・13日	6頁
⑤プラスチック成形技術基礎講座	3日間	12月8日・9日・15日	7頁
⑥中核技術者のためのスキルアップ講座	5日間	8月23日、9月20日、 10月4日・13日・14日	8頁
⑦高信頼性を目指した品質保証技術基礎講座	4日間	9月1日・2日・15日・16日	9頁
⑧ものづくり現場を担う製造リーダー育成講座	5日間	8月2日・18日・19日、 9月6日・27日	10頁

## 講座の特徴

### 産学の経験豊かな講師陣

三重大学、鈴鹿高専の先生方と民間企業の実践経験豊かな講師から学びます



### 講義一辺倒でない工夫されたカリキュラム

実験実習、グループワークを織り交ぜた参加型の講座構成です



### 異業種の受講生からもお互いに学ぶ

グループワークでの意見交換等から刺激を受けお互いに成長します

Internet of Things (IoT) で何ができるのか、IoTを活用してどのような業務改善、生産性の向上が期待できるのか明確にならない等の悩みを抱えているものづくり企業の技術者の方に、IoTシステムの概要、利活用の事例、現場での推進のポイント等を学び、現場改革のヒントを得ると同時にIoT導入のための手掛かりを得ます。

### 受講対象者

- 製造業に従事し、IoTの全体像について、理解したい方
- IoT及びIoTシステム導入に興味を持っている、ものづくり技術者の方
- IoTの関連技術を身に付け、ものづくり企業への就職を希望している求職者の方

講師	講座名・講座概要・講座日程	
第1日目	ものづくりでのIoT活用と推進の基礎 10月 26日(木) 9:30~17:00	
三重県産業支援センター IoTアドバイザー 柴田 英寿	IoTシステムの概要、IoTを支える技術、IoTの活用内容、現場での推進のポイント等について学び、今後のIoT推進のヒントを得ます。	
	講義内容	①IoTの概要・推進のポイント ②IoTを支える技術 ③IoT利活用(生産管理・設備管理・目で見える管理等)
第2日目	IoTの導入事例 11月 8日(水) 10:00~17:00	
富士電機(株) 安川 和幸	実際にIoTを活用している民間企業の技術者から、現場での準備内容、システム構成、活用の成果等について事例を通じて学びます。	
	講義内容	設備管理支援、異常兆候監視、エネルギー管理等の導入事例を紹介します。
第3日目 第4日目	ラズベリーパイによるIoT実践 11月24日(金) 9:30~17:00 11月25日(土) 9:30~17:00 ※3日目・4日目の講座会場は、三重大学になります。 受講される方には、事前にご連絡いたします。	
三重大学 松井 博和助教	ラズベリーパイ(超小型コンピュータ)を用いて、カメラで画像処理、LEDを点灯する等の実験を通じて、ものづくり現場における生産性向上のためのIoTで活用例を学びます。本講座では、講座修了後も、ラズベリーパイを用いて現場で実行できる環境を整えます。	



講座風景



実習機材：ラズベリーパイによるIoT

## 2 メカトロ応用技術基礎講座

製造業における工作機械や自動装置・自動搬送機などの生産設備は、機械工学や電子工学の要素技術と共にシステムの統合技術がベースとなっており、メカトロ技術者には、各要素技術を最適に組み合わせる能力が求められます。

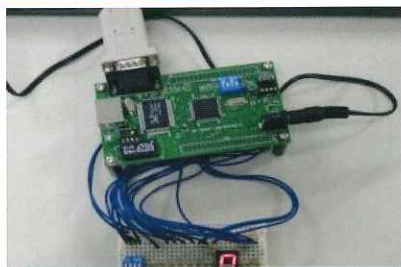
すべての技術をマスターすることは難しいことですが、専門分野以外の領域も知ることでステップアップができ、様々な製品分野で高付加価値化、生産技術の高度化などにつながるものと思われます。本講座では各要素技術の基礎を学び、メカトロ技術のレベルアップにつなげます。

### 受講対象者

- 製造設備、生産技術及び設備機器の開発設計部門の方で、メカトロの要素となる技術を身に付けレベルアップを図りたい方
- メカトロの関連技術を身に付け、ものづくり企業への就職を希望している求職者の方



講師	講座名・講座概要・講座日程		
第1・2日目	シーケンス制御 (PLC)	10月 6日 (金)・7日 (土)	9:00~17:00
佐藤 芳巳	シーケンス制御の基礎を学びその後、PLCを用いて、スイッチ・ランプ等を動作させるプログラムを作成する。更にPLCに関するIoTの活用を含めてメカトロに必要な基礎知識を学びます。		
	講義内容	①シーケンス制御基礎 ②PLC制御システムの基礎 ③制御要素の概要 ④制御の周辺技術 ⑤IoTの導入事例	
	実習内容	①ラダープログラミングの基本操作 ②機材を使用しラダープログラミングの演習 (オルタネートSW・順次投入一括遮断・順次点滅・3相電力の計算処理・ランプの点滅処理等)	
第3・4・5日目	組込みソフトウェア	10月20日 (金)・21日 (土)・11月1日 (水)	9:00~17:00
東海ソフト(株) 加藤 健 伊藤 隼人	組込みシステムの概要と組込みソフトウェアのプログラミングの基礎を学びます。初めて学ぶ方にも理解できるよう実習を多く取り入れ、易しく学びます。		
	実習内容	①実習で使用する「H8マイコンボード」の組立 ②H8マイコンを使用し、7セグLED、スイッチ、ブザー等の機器を操作するプログラミング	
第6・7日目	メカトロ要素技術	11月10日 (金)・11日 (土)	9:00~17:00
三重大学 早川 聡一郎准教授	次世代自動車及び自動化システム構築に必要なセンサ・制御・アクチュエータ等の要素技術の基礎を学び、レゴ・マインドストームを使って検知・制御し、アクチュエータを可動させるシステムを実験します。		
	講義内容	①アクチュエータ ②センサと制御	
	実習内容	講義内容をLego Mindstormを使い実践して学びます。 (モータと歯車、センサ・フィードバック制御等)	



組込みソフト：H8マイコン



PLC講座風景



レゴを使ったメカトロ実習

航空機産業は、すそ野が広く又今後大きな市場が期待できる産業であり、大きなビジネスチャンスであると同時に技術的な波及効果も期待されています。

本講座では、航空機産業から学ぶ講座として、新素材（FRP、非鉄金属難削材等）の特性と用途及び加工技術を学びます。特に加工が難しいといわれる複合材、難削材の加工技術を学び、技術者として技術の幅を広げると同時に社内の課題解決や新たな展開に結び付けていただくヒントを得ます。

### 受講対象者

- ものづくり企業の製造技術者で、新素材及び加工技術に興味のある方で、他業種の技術を学び、レベルアップを図りたい方
- 加工技術に関心があり、機械加工分野等ものづくり企業に就職を希望する方

※本講座のみ受講生募集定員は**12名**となります。

講師	講座名・講座概要・講座日程	
第1日目	FRP等複合材の加工技術 11月29日(水) 10:00~17:00 ※第1日目の講座場所は三重大学となります。受講者の方には、事前にご連絡いたします。	
三重大学 中西 栄徳准教授	FRPの特性と適用事例及びFRP等複合材の加工技術について、講義と実験を通じて学び、FRP素材を理解し、企業での新たな展開でのヒントを得ます。	
	講義内容	①FRP概論 ②FRP等複合材の加工技術
	実験内容	①FRP等複合材のトリミング・孔明け等の加工を体験します。
第2日目	軽金属材料（難削材）の加工技術 12月6日(水) 10:00~17:00 ※第2日目の講座場所は鈴鹿高専となります。受講者の方には、事前にご連絡いたします。	
鈴鹿高専 万谷義和准教授	一般的な鉄鋼材料とは異なる特性を有するため、チタン合金、アルミ合金、マグネシウム合金といった軽金属材料は難削材といわれ、これら軽金属の特性と加工技術のポイントを講義と実習で学びます。	
	講義内容	①軽金属の基礎 ②難削材の特性と適用 ③機械加工の基礎と難削材加工のポイント
	実験内容	①材料分析と評価試験（元素分析、引張試験、硬さ試験） ②切削加工実験
第3日目	工場見学 (予定) 12月20日(水) 13:30~	
(未定)	難削材等の機械加工等の工場を見学し、見聞を広めます。 見学先は、受講生決定後に連絡いたします。	



講座風景



難削材硬さ試験



複合材ドリル加工実験



航空機産業では特有の高い技術で開発期間及びライフサイクルも長く且つ人命に係わり、安全性・信頼性への対応等高度な品質管理が必要とされます。

本講座では、航空機独自の規格JISQ9100の実施すべきポイント及び航空機産業の現場での品質管理について学び、自社の品質管理と比較しながら、今後取り組むべき品質管理の課題について明確にする等品質管理のレベルの向上に役立てていただくヒントを得ます。

### 受講対象者

- 航空機産業の部品加工を担当している技術者及び今後新規参入を検討している企業の技術者及び管理者の方
- ものづくり企業の製造技術者及び管理者で、知識の幅を広げ、管理レベルの向上を図りたい方
- 品質管理に関心があり、ものづくり企業に就職を希望する方

講師	講座名・講座概要・講座日程		
第1日目	航空機産業での品質保証	12月 1日(金)	9:30~17:00
名古屋品証研(株) 有田 智充 菱川 大介 山崎 健太郎	過去の航空機の事故例から航空機での品質保証の重要性と特徴を認識し、JISQ9100の要求に従って実施すべき事項のポイントを学び、ISO9001との相違点から、自職場で今後取り組むべき品質保証の課題を明確にし、管理レベルの向上に役立てます。		
	講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機の事故例</li> <li>・JISQ9100の要求と実施すべきポイント</li> <li>・ISO9001との相違点</li> </ul>	
	実習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義内容を実習「模型飛行機を製作」しながら、各過程で品質管理のポイントを学びます。</li> </ul>	
第2日目	実践品質保証	12月 2日(土)	9:30~17:00
名古屋品証研(株) 菱川 大介 山崎 健太郎	航空機産業の現場での品質保証について、製品実現の各製造工程毎の要求事項を満足するために実施すべき管理ポイントをグループワークの実習を通じて実践的に学びます。		
	実習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品実現の各製造工程毎の管理ポイントを実習「模型飛行機を製作」しながら学びます。</li> </ul>	
第3日目	工場見学	(予定) 12月13日(水)	13:30~
(未定)	航空機の組立工程の見学と現場における品質保証について学びます。 見学先は受講生決定後に連絡いたします。		



品質保証講義風景



グループワークショップ風景



工場見学風景



プラスチック成形品は、日用品から工業品、機能部品へとあらゆる産業、市場に拡大され、最近特に高強度・軽量・耐摩耗性・衝撃吸収性などの高機能な材料の選択とそれを加工する技術は非常に高いものが要求されます。

講座では、プラスチックの成形技術・金型技術と成形不良対策等射出成形全般の基礎を講義、成形不良の原因究明のグループ討議及び流動解析のシミュレーションを交えながら分かり易く学ぶカリキュラムとしてます。個々人の知識の幅を広げ、レベルアップを図り、業務の質を高め、企業で中核となる人材の育成を図ります。

### 受講対象者

- プラスチック成形技術全般の基礎を学びたい方
- 製品の構造設計、外装設計等担当する技術者、購買、営業、生産管理、品質保証を担当する方
- 射出成形のオペレータで成形技術を学びたい方
- プラスチックの成形技術を学び、技術・技能の幅を広げ、本業務に就職を希望する方

講師	講座名・講座概要・講座日程		
第1日目	プラスチック射出成形技術	12月 8日(金)	9:00~17:00
日精樹脂工業(株) 小林 和豊 石井 耕二	プラスチック射出成形技術について、成形不良事例とその対策を、講義とグループ討議で学びます。		
	講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・射出成形の条件</li> <li>・成形不良事例と対策</li> <li>・不良品ゼロへの取組み</li> </ul>	
	実習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ討議：成形不良サンプルから不良箇所と対策</li> </ul>	
第2日目	プラスチック射出成形金型技術	12月 9日(土)	9:00~17:00
日精樹脂工業(株) 小林 和豊 石井 耕二	プラスチックの射出成形の金型技術について、金型の機能、金型基本構造と設計等を講義とシミュレーションを交えながら学びます。		
	講義内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金型の機能</li> <li>・金型の基本構造</li> <li>・金型設計</li> </ul>	
	演習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流動化解析のシミュレーション</li> </ul>	
第3日目	施設見学	12月15日(金)	13:30~16:00
三重県工業研究所	①FRP等複合材の射出成形機の実演 ②プラスチック成形での技術開発・新製品開発に必要な各種試験測定機器（非接触3次元測定器、材料物性評価・分析機器等）を見学します。		



グループで原因対策討議



成形不良サンプルで検討



流動解析シミュレーション

開発設計、製造技術者は、業務を遂行するためには自分の専門分野の技術や知識の他に周辺技術や多様なスキルを備える必要があります。本講座では、技術者のための自己革新のためのスキルとしてVE（バリューエンジニアリング）、失敗事例に学ぶ機械要素及び企業の管理会計等を学び、技術者として知識の中を広げレベルアップにつなげます。

### 受講対象者

- 設計開発、品質保証、製造部門の技術者を対象に自分の専門以外のスキルを身に付けレベルアップを図りたい方
- 関連技術を身に付け、ものづくり企業への就職を希望している求職者の方

講師	講座名・講座概要・講座日程		
第1日目	①ものづくり基礎概念 ②ものづくり管理会計	8月23日（水）	① 9:00~12:00 ② 13:00~17:00
①三重県産業支援センター 長谷川 俊男 ②山形大学 柘 紫乃准教授	①技術者としてモノづくりの基本とそのプロセス全体を理解し、企業競争の中での組織力や収益性の考え方を学ぶ。 ②企業の損益計算などの経営指標からものづくりにおける原価計算・製造損益の仕組みを理解する。		
第2日目	機械要素のメカニズム	9月20日（水）	9:00~17:00
三重大学 野村由司彦教授 富士電機(株) 中島 圭一 元富士電機(株) 笠井 幹雄	歯車機構に関わる失敗事例からその解析と歯車の基礎理論を学び、更に遊星歯車等のメカニズムと理論を学びます。 歯車・カム・リンクなど一般的に使われている実用例を紹介し、見聞を広めます。		
第3日目	熱力学・材料力学	10月4日（水）	9:00~17:00
三重大学 廣田 真史教授 三重大学 稲葉 忠司教授 富士電機(株) 横田 義剛	<熱力学> 産業分野で使用される熱交換器を通じて、熱流体力学の基礎を学ぶことと、最近の環境並びに省エネ技術についても学びます。 <材料力学> 失敗事例から荷重と応力の基本及び衝撃・座屈荷重による破壊・崩壊の基礎理論を知って、機械・構造物の強度設計・安全設計について材料力学の勘所を学びます。		
第4日目 第5日目	VEとコストダウン	10月13日（金） 10月14日（土）	9:00~17:00 9:00~17:00
元富士電機(株) 能力開発センター 教授：高田 俊晴	製品やサービスの「機能（役割・働き）」と「コスト」に着目し、新たな価値を創造する技法（VE）の考え方とシステム化された手順、使い方を学びます。		



失敗事例のグループ討議と討議結果の発表



VE手法の演習



顧客要望、社会ニーズ、他社動向などを的確に把握し、競争力を追及しながら品質問題を起こさない新しい技術・商品の開発が求められています。本講座では、効果的かつ効率的に仕事を進めていくための、有効な品質管理技術・手法を実践的に身に付け、開発期間の短縮と未然に品質問題を解決するスキルの向上をめざします。

### 受講対象者

- 開発設計、品質保証、製造部門にかかる品質保証技術・管理手法の習得及び興味のある方
- 商品開発や技術課題解決、品質解析等を担当される方
- 品質保証技術を身に付け、ものづくり企業への就職を希望している求職者の方

講師	講座名・講座概要・講座日程		
第1日目	信頼性工学 (FMEA・QFD)	9月1日 (金)	9:00~14:00
富士電機(株) 鶴羽 健	顧客の声を、製品やサービスにつなげる手法のQFDと故障や事故を引き起こす可能性のある潜在的故障要因を設計段階で摘出し改善するための未然防止手法であるFMEAの概要を演習を通じ学びます。		
	講義内容	①QFD (品質機能展開) とは ②FMEA (故障モードと影響解析) の実施	
	実習内容	FMEAの実習	
第1・2日目	品質工学	9月1日 (金)	14:00~17:00
		9月2日 (土)	9:00~17:00
富士電機(株) 中条 孝則	新商品開発や品質事故解析を効率的に行い、再発防止に向けた取り組みを行うのに有効な手段である品質工学 (タグチメソッド) の概要とその活用方法を学びます。		
	講義内容	①品質工学とは ②パラメータ設計	
	実習内容	スタタパルトを使った設計パラメータ	
第3・4日目	統計的データ解析	9月15日 (金)・16日 (土)	9:30~17:00
三重大学 野呂 雄一准教授	多変量解析を活用し、売れる商品づくりの企画や開発システムの構築をしたり、QC手法とうまく組み合わせることにより、問題解決をより効果的に行う等幅広い場面で意思決定に役立つ統合的なデータ解析をフリーソフトウェア「R」を活用し学びます。		
	講義内容	①統計学概論 ②「R」を使った統計解析	
	事例紹介	企業で実施されている統計的データ解析の事例紹介	



信頼性工学の講義



品質工学の実習

製造現場のものづくりリーダーとしての業務目標の立て方、能力開発の進め方、更にはものづくりの基本技術・技法であり且つリーダー6大任務であるQ（品質）・C（コスト）・D（納期）・S（安全）・M（モラル）・E（環境）について製造現場で働く基本を学び、職場で実践的に指導できる人材を育成します。

### 受講対象者

- 製造現場での管理者、監督者、リーダーをめざす方
- 製造現場のリーダーで基本から学び直したい方
- 製造現場の改善及び課題解決を図りたい方
- 製造現場に必要な基本スキルを身に付け、ものづくり現場への就職を希望する方

講師	講座名・講座概要・日程		
第1日目	管理監督者の使命（監督者の6大使命）	8月 2日（水）	9：00～17：00
元富士電機(株) 能力開発センター 小澤 二二雄	ものづくり現場の管理監督者に必要なリーダーシップ・目標管理・能力開発・小集団活動、業務改善等のスキルを身に付け、現場管理能力、現場管理の基本を学びます。		
	講義内容	①管理監督者の使命 ②製造マンの6大任務 ③リーダーシップ ④小集団活動 ⑤改善活動	
第2・3日目	品質管理	8月18日（金）・19日（土）	9：00～17：00
元富士電機(株) 能力開発センター 教授：高田 俊晴	QC7つ道具の手法と使い方を理解し、現場の品質管理と品質改善策を実習を通じて学びます。		
	講義・実習内容	①品質管理について ②層別の考え方 ③QC7つ道具の使い方（パレート図～特性要因図） ④品質改善事例	
第4日目	5S・安全（見える化）、設備管理	9月 6日（水）	9：00～17：00
元富士電機(株) 能力開発センター 小澤 二二雄	現場管理の基本である5S活動・安全管理・設備管理等の基本を学び、現場改善のヒントを得ます。		
	講義内容	①5Sは現場管理の基本 ②3定管理 ③見える化 (安全管理) ①安全3原則 ②ポカヨケ ③インターロック	
		(設備管理) ①設備稼働率と可動率 ②段取りのスピードアップ	
第5日目	生産管理（生産性向上によるコスト削減）	9月27日（水）	9：00～17：00
元富士電機(株) 能力開発センター 小澤 二二雄	各種生産方式及び在庫管理の基本を学び、最適な生産方式・在庫削減と時間観測・工程・稼働分析等通じ工程改善の基本を学びます。		
	講義・実習内容	①生産管理とは ②生産方式と在庫管理 ③リードタイム短縮	
	講義・実習内容	①IEの歴史 ②時間分析 ③ワークサンプリング ④工程分析	



生産管理実習



品質管理実習



グループ討議実習

# 募集要項

## ① 募集対象

- 県内のものづくり企業に在籍する方及び県内企業への就職を希望する方で、
- 次世代自動車及び航空機産業での要素技術及び管理技術から学び、新たな展開を図りたい方
  - ものづくりに携わる技術者で、更に個人のスキルアップを図りたい方
  - 専門外の技術・知識を学び、技術の幅を広げるなど、新たな挑戦をしたい方
  - 他社の技術者とのコミュニケーションから、新たな気づきと刺激を受け、自己啓発を図りたい方

## ② 募集人員

### 各講座とも定員：20名

(ただし、③航空機産業に学ぶ新素材と加工技術基礎講座は12名です)

- 講座は8講座ありますが、希望する方は複数講座を受講することも可能です。
- 同一企業様から複数人数の応募も可能です。
- 申し込み締切後、受講人員の調整をさせていただくことがあります。応募多数の場合は、受講をお断りする場合があります。また、応募少数の場合は、講座を中止する場合がありますので、予めご了承ください。
- 受講決定者には、講座開講前に受講決定通知書を発行致します。

## ③ 申し込み方法・問い合わせ先

「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送で下記へお申込みください。

〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1-30

公益財団法人三重県産業支援センター 高度部材イノベーションセンター

担当：三田、櫻井 (お問合せTEL：059-349-2205)

**FAX送信先：059-349-2206**

## ④ 受講料

全講座ともに、受講料は無料です。

## ⑤ 受講について

各講座の一部のカリキュラムを選択して受講することはできません。  
なお、受講される方が、会社からの指示で参加される場合は、戦略産業雇用創造プロジェクト推進協議会への参加が必要となります。

## ⑥ 申し込み締切

**平成29年 7月12日(水) 17:00**

## ⑦ 受講場所



### 受講主会場

公益財団法人三重県産業支援センター  
高度部材イノベーションセンター (AMIC)  
四日市市塩浜町1-30

<電車でお越しの場合>  
近鉄塩浜駅 東口より徒歩約5分

<お車でお越しの場合>  
カーナビで検索すると、異なった場所が案内されることがございます。

郵便局の向かい側ですので「四日市塩浜郵便局」で検索してください。  
※三菱が加様の「塩浜門」を入り、正面にある建物になります。



尚、一部の講座の会場は三重大学・鈴鹿高専になります。受講者の方には、講座期間中に別途ご案内いたします。



次世代自動車・航空機に学ぶ ものづくり技術基礎講座  
受講申込書

◎受講申込み講座に○印をつけてください。(複数の講座の申し込み可能)

① IoTを活用するものづくり基礎講座	⑤ プラスチック成形技術基礎講座
② メカトロ応用技術基礎講座	⑥ 中核技術者のためのスキルアップ講座
③ 航空機産業に学ぶ新素材と加工技術基礎講座	⑦ 高信頼性を目指した品質保証技術基礎講座
④ 航空機産業に学ぶ実践品質管理基礎講座	⑧ ものづくり現場を担う製造リーダー育成講座

ふりがな	
氏名	
年齢	該当に○印をつけてください。 ～29歳 ・ 30歳代 ・ 40歳代 ・ 50歳代 ・ 60歳～
連絡先TEL	勤務先 or 携帯(連絡がつくところ) ( )-( )-( )
最終学歴	大学院卒 ・ 大学卒 ・ 高専卒 ・ 高卒 ・ 専門学校卒 ・ その他
専攻科目	機械系・電気電子系・情報処理系・その他( )
受講の動機	

◀受講される方が会社からの指示によって参加される場合には、下記に勤務先内容を記入してください。▶

勤務先	ふりがな	
	企業名	
	所在地	〒 三重県
	所属	
	TEL	FAX
	業務内容	設計開発・研究開発・製造技術・品質保証・生産管理・製造管理・製造・その他( )
勤務先の窓口責任者	所属 役職	TEL
	氏名	E-MAIL

※ご提出頂きました個人情報責任は責任を持って管理し、本講座に関わる事務処理以外には使用いたしません。

お申込み・お問い合わせ

必要事項を記入の上、FAX又は郵送にてお申込みください。  
〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1-30 (TEL:059-349-2205)  
公益財団法人三重県産業支援センター(高度部材イノベーションセンター) 三田、櫻井  
**FAX送信先: 059-349-2206**

【お願い】会場内において主催者等が写真撮影を行った場合、マスコミ記事や主催者及び協賛者のホームページ等に掲載されることがありますので、予めご了承ください。